世界最大のがん患者支援組織Cancer Support Communityの日本支部として2001年から関東圏で、2013年から関西圏で、臨床心理士・社会福祉士・看護師といった専門家によるがん患者さんとそのご家族に対する心理社会的支援活動に取り組んでいます。

がん患者さんとそのご家族が生活している地域コミュニティーで、自分と似たような境遇にある人たちと語り合うことで、自分が決して独りではないことや、自分らしく生きていくことの大切さに気づくための機会と場として様々なサポートプログラムを提供しています。

大阪マラソンでいただいた寄附金は、「がんにならない、がんになってもその人らしく生きることができる社会」をめざして、広く市民にがんの予防啓発(リーフレットと啓発バッジを制作・配布)を行うとともに、関西圏にお住まいのがん患者さんへの専門家による心理社会的支援の充実に役立てさせていただきます。